

麻しんの発生状況

1 麻しん発生状況

年次別麻しん報告数（単位：人）

西暦	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
元号	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
全国	35	165	186	279	744	10	6	6	28	45
兵庫県	4	20	3	2	51	1	0	1	2	4

平成30年に沖縄県を発端とし、愛知県、千葉県等で感染が拡大し、全国で279例、兵庫県では2例の届出があった。2例のうち1例は海外（タイ）からの輸入例であった。令和元年は集団感染事例により患者発生数が多くなり、神戸市を中心に患者が発生した。全国的に令和2年～令和4年までは感染者数の増加はみられなかったが、令和5年は散発した。令和6年は4例報告があり、うち1例は大阪府の患者の接触者（航空機同乗）、3例は海外からの輸入例である。

2 都道府県別麻しん報告数

令和2年の麻しん患者数（全数報告）

都道府県	①東京	②愛知	③兵庫	③他5府県		全国計
患者数(人)	2	2	1	1		10

令和3年の麻しん患者数（全数報告）

都道府県	①愛知	②埼玉	②滋賀	②奈良	②福岡	全国計
患者数(人)	2	1	1	1	1	6

令和4年の麻しん患者数（全数報告）

都道府県	①静岡	②兵庫	②北海道	②神奈川	②大分	全国計
患者数(人)	2	1	1	1	1	6

令和5年の麻しん患者数（全数報告）（令和6年1月15日時点の速報値）

都道府県	①東京	②大阪	③兵庫	④他道県		全国計
患者数(人)	10	5	2	2		28

令和6年の麻しん患者数（全数報告）（令和6年1月13日時点の速報値）

都道府県	①東京	②大阪	③埼玉	④兵庫	④京都	全国計
患者数(人)	10	11	8	4	4	45